

兼房株式会社

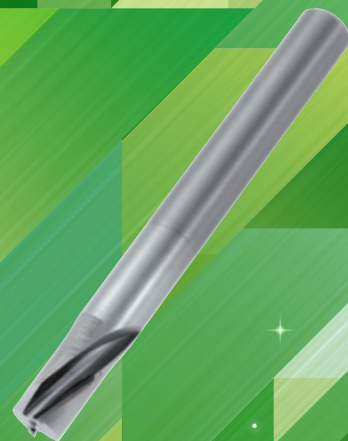
証券コード 5984

第75期 株主・投資家の皆様へ

中間報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

KANEFU S A





株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当社第75期上半期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）における営業の概況ならびに決算の内容等につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役 社長執行役員

渡邊 将人

営業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州では、金融引き締めが続くなか、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー供給への懸念や物価高が景況感を押し下げており、中国では、ゼロ・コロナ政策継続により社会活動が制約され景気回復が鈍化しております。一方、わが国経済は、資源高と急激な円安の同時進行による物価の上昇圧力が、景気の停滞感を強め、経済の先行きを不透明なものにしております。

このような状況の下、当社グループは生産性の維持・向上、顧客への訪問やオンライン会議を活用し、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住

宅関連市場の販売拡大により前年同期を上回る結果となりました。

売上高

国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加しました。また、海外での売上も、米国およびアジア向けを中心に増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は108億4千6百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

利益

利益面につきましては、生産性の向上など売上原価率が改善したことなどから、営業利益は9億8千1百万

円（前年同期比36.7%増）、営業外収益として為替差益3億7千万円を計上したことから、経常利益は13億4千6百万円（前年同期比77.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億7千1百万円（前年同期比55.5%増）となりました。

通期の見通し

通期の連結業績予想につきましては、連結売上高211億円、営業利益18億8千万円、経常利益20億7千万円、親会社株主に帰属する当期純利益14億4千万円を見込んでおります。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

単位:千円

科目	期別	当第2四半期末	前期末
		2022年9月30日現在	2022年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産		19,970,201	18,237,163
固定資産		14,355,783	13,399,070
資産合計		34,325,984	31,636,234
(負債の部)			
流動負債		4,847,911	4,159,069
固定負債		2,298,519	1,998,422
負債合計		7,146,431	6,157,492
(純資産の部)			
株主資本		25,271,017	24,698,519
その他の包括利益累計額		1,908,535	780,222
純資産合計		27,179,552	25,478,741
負債純資産合計		34,325,984	31,636,234

総資産

流動資産は199億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ17億3千3百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が9億3千7百万円増加し、商品及び製品が4億8千9百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は143億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億5千6百万円増加いたしました。これは投資その他の資産が1億2千8百万円減少したものの、有形固定資産が前連結会計年度末に比べ9億7千3百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は343億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億8千9百万円増加いたしました。

負債

流動負債は48億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億8千8百万円増加いたしました。これは主に流動負債の他が7億1千6百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は22億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億円増加いたしました。これは主に長期借入金が2億2千4百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は71億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億8千8百万円増加いたしました。

純資産

純資産合計は271億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が12億3百万円増加し、利益剰余金が5億7千2百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.2%（前連結会計年度末は80.5%）となりました。

連結損益計算書(要旨)

単位:千円

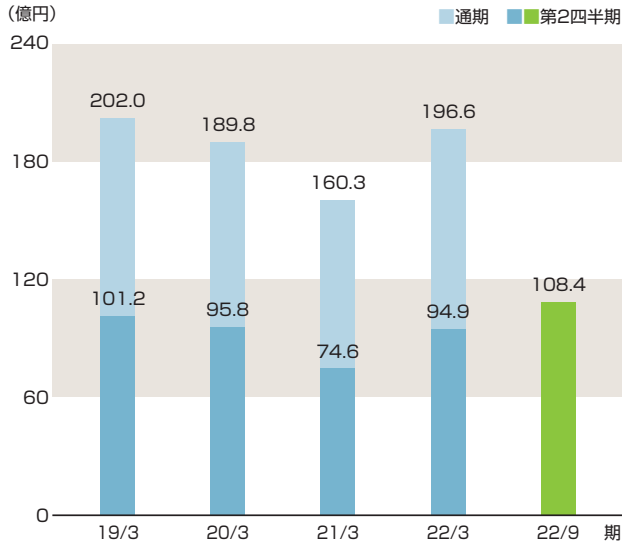
科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		2022年4月1日から 2022年9月30日まで	2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高		10,846,330	9,490,841
売上原価		7,323,024	6,562,740
売上総利益		3,523,305	2,928,100
販売費及び一般管理費		2,541,379	2,209,799
営業利益		981,926	718,301
営業外収益		400,778	45,802
営業外費用		35,850	5,693
経常利益		1,346,853	758,409
特別利益		51,433	1,036
特別損失		1,008	799
税金等調整前四半期純利益		1,397,278	758,646
法人税等		525,925	198,230
四半期純利益		871,353	560,416
親会社株主に帰属する四半期純利益		871,353	560,416

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

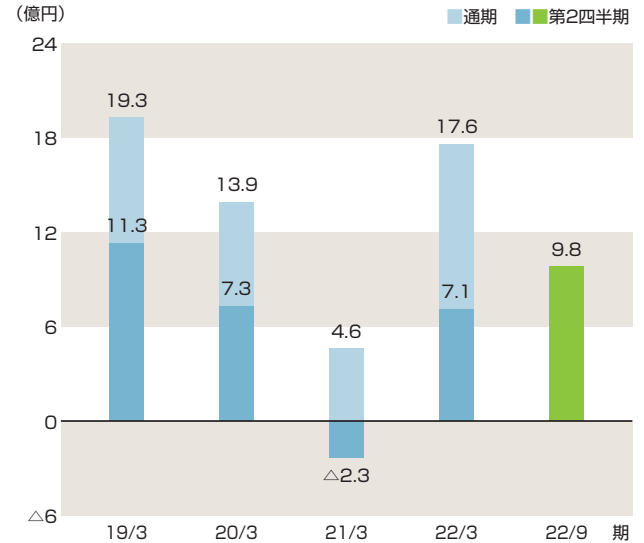
単位:千円

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		2022年4月1日から 2022年9月30日まで	2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,771,681	1,383,373
投資活動によるキャッシュ・フロー		△796,513	△229,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		△385,770	880,700
現金及び現金同等物に係る換算差額		347,654	130,421
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		937,053	2,165,071
現金及び現金同等物の期首残高		7,164,309	4,923,103
現金及び現金同等物の四半期末残高		8,101,362	7,088,175

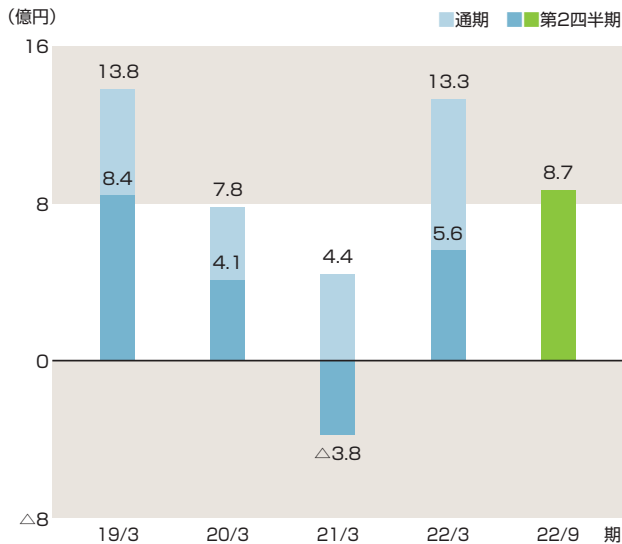
■売上高



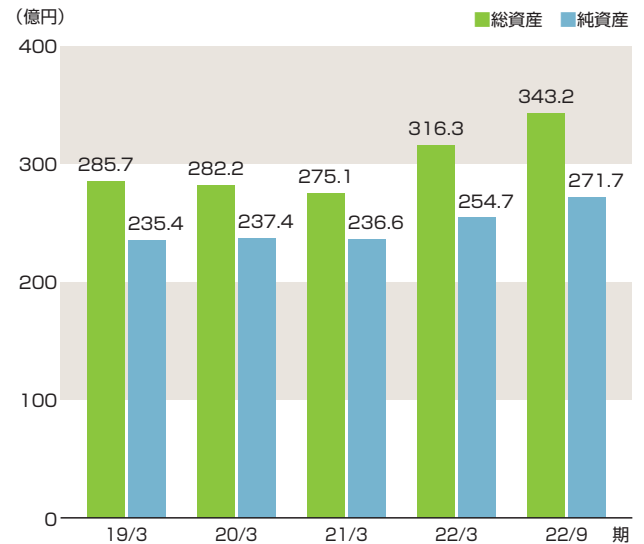
■営業利益又は営業損失 (△)



■親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)



■総資産・純資産



TOPICS

“超”モノづくり部品大賞 奨励賞 受賞 (2022年10月)

当社製品、「Nova E'z Disc」が第19回／2022年“超”モノづくり部品大賞で奨励賞を受賞しました。Nova E'z Discは、自動車等のアルミ部品を加工する刃物です。当社独自のロウ付技術を用い、多刃仕様を実現させ、高能率かつ高品質な加工を可能としました。また、全刃を一度に交換できるヘッド交換式を採用し、刃先フレ調整も不要にしたことで、一刃ずつ交換するタイプと比べ段取時間を大きく短縮することができました。製造現場での生産性や品質向上に貢献できる製品として需要が高まっています。



アルミ加工用
ヘッド交換式多刃ダイヤフェースミル
Nova E'z Disc



加工の様子



※“超”モノづくり部品大賞は、「縁の下の力持ち」的存在として日本のモノづくりの競争力向上や産業・社会の発展に貢献する優れた部品・部材を表彰する、モノづくり日本会議と日刊工業新聞社共催の制度です。

JIMTOF出展 新製品発表 (2022年11月)

JIMTOF2022 (第31回日本国際工作機械見本市) が東京ビッグサイトで開催され、当社も出展しました。JIMTOF は、工作機械やその周辺機器が一堂に会する、モノづくりの総合見本市であり、最先端の技術・製品が世界中から集結する世界最大級の展示会です。

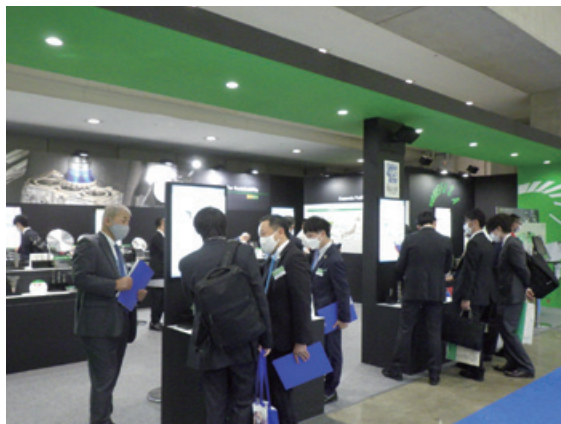
当社はブースにて新製品の「Cast E'z Disc (キャストイージーディスク)」を紹介し、来場者にその性能をアピールしました。

Cast E'z Discとは?

鋳鉄部品表面加工用の刃物で、建設機械やトラックなどのエンジン周辺部品等を加工します。Nova E'z Disc (上段記事で参照) と同じヘッド交換式で、簡単に刃を交換することができます。また、独自の刃型形状で対欠損性を高め長寿命化を実現させました。



鋳鉄用
ヘッド交換式cBNフェースミル
Cast E'z Disc



展示会の様子

Information

会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	兼房株式会社 KANEFUSA CORPORATION	
設立	1948年11月25日	
資本金	21億4,250万円	
本社所在地	愛知県丹羽郡大口町中小口一丁目1番地	
従業員数	747名	
主要な事業内容	工業用機械刃物・工具・工作機械・機械部品の製造販売。 ならびに、関連する事業に対する投融資及び技術供与。	
主要な事業所	本社・工場	愛知県丹羽郡大口町 中部 関東 関西 営業所 札幌 仙台 広島 高松 福岡
子会社	PT.カネフサインドネシア カネフサヨーロッパB.V. カネフサインディア Pvt.Ltd. カネフサメキシコ S.A. DE C.V. カネフサベトナム マニファクチャリングCO.,LTD.	カネフサUSA,INC. 昆山兼房高科技刀具有限公司 カネフサ ドブラシル LTDA. カネフサベトナムCO.,LTD. 大口サービス株式会社

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員	渡邊 将人	取締役 (監査等委員)	脇田 英嗣
取締役 専務執行役員	太田 正志	社外取締役 (監査等委員)	小池 徹
取締役 常務執行役員	磯谷 岳摩	社外取締役 (監査等委員)	山崎 裕司
取締役 常務執行役員	佐築 賢治		
取締役 常務執行役員	今泉 宏一		

株式の状況 (2022年9月30日現在)

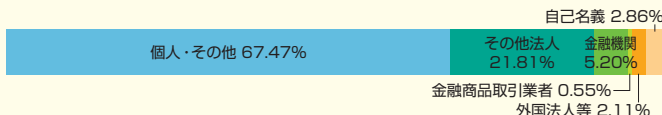
発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	14,310,000株
株主数	2,722名

■大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大口興産株式会社	2,299	16.5
渡邊 裕子	1,346	9.6
太田 万佐子	1,307	9.4
渡邊 将人	1,000	7.2
兼房従業員持株会	835	6.0
渡邊 美奈子	513	3.6
太田 正志	404	2.9
渡邊 久修	243	1.7
信太 万希子	243	1.7
株式会社りそな銀行	200	1.4

(注) 持株比率は自己株式 (409千株) を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日 (1) 定時株主総会・期末配当 3月31日
(2) 中間配当を実施する場合 9月30日
(3) その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を設定いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

お問合せ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
〈電話〉0120-232-7111 (通話料無料)
〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.kanefusa.co.jp/koukoku.html>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

特別口座の口座管理機関を2022年12月1日より三菱UFJ信託銀行に変更しました。
特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましても、上記のお問合せ先までお願いします。

【株式に関する「マイナンバー制度」のご案内】

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

兼房株式会社

